

元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1回生 伊藤 有希

今回台湾のサマースクールに参加して、たくさんのことを学びとても貴重な体験をすることができました。台湾の文化や医療、そして元培科技大学の学生との交流はとてもいい勉強になりました。そのなかでも学生との交流は私に何か大きなものを感じさせました。上手く中国語や英語が話せるかが問題ではなく、どれだけ相手と楽しく会話ができるかが大切であるということです。私が毎日笑顔でいられたのは台湾の学生と楽しく会話をしていたからです。本当にいい思い出になりました。



私は初めての国際交流だったため台湾の人たちとうまく話せるか、仲良くなれるかと不安がありました。しかし、台湾の学生は私に英語や日本語で話しかけてくれたのですぐに仲良くすることができました。名前も英語のニックネームみたいなのがあり覚えやすかったです。どうしてそんなに日本語ができるのか聞いてみたところ、漫画やアニメで日本語を覚えたと言っていました。英語もとても流暢でネイティブの発音のようでした。台湾の学生は日本よりも語学能力が高く、自分で勉強するといった姿勢があります。実際に台湾の学生は「これは日本語ではなんというの？」とたくさん聞

いてきました。私も中国語ではなんというのか教えてもらったけど発音が難しくて覚えるのが大変でした。

台湾は観光地としてとても人気があります。九份や夜市、淡水といった魅力的なところがたくさんあります。九份では飲食店やお土産屋が多くありました。日本人がよく知っているジブリの千と千尋の神隠しのモデルと言われていました。夜市は屋台が多く、雑貨や服などいろいろなものがありました。台湾の人は迷子にはならないが、日本人が一人でいくと迷子になると言われました。淡水では大きな河があり、その水は台風の影響で汚れていました。台湾はよく台風が来るので大変だと言っていました。私たちが帰る頃にも台風が押し寄せていたので日本に帰れるか心配でしたが無事に帰ることができたのでよかったです。





十分で天燈上げをしました。天燈は大きな紙風船のようにそれに願い事を書いて飛ばします。色によって意味が違って、最大で4色選ぶことができます。台湾の学生も天燈に自分の名前と私たちの名前を書いて空に飛ばしました。電車の線路で行われているので日本ではまず体験できないことだと思いました。

台湾の学生がずっと一緒にいてくれたので現地の人と同じ感覚を味わうことができました。それはサマースクールの1番の魅力であると思います。

そして、1番感動したのが歓送会でした。歓送会では台湾の学生が日本の曲でダンスや歌を披露し、私達もダンスを踊りました。台湾の学生と一緒に踊って、歌も歌いとても楽しかったです。その後に、プレゼント交換をしました。私たちは色紙やお菓子、漫画を渡しました。色紙はサマースクールの間に中国語でメッセージを書きました。夜中に京都医療のみんなが集まって頑張ったので喜んでくれてよかったです。

今回は京都医療科学大学と元培科技大学の少人数でのプログラムだったのでより濃い関係になりました。台湾の学生は準備などで大変だったのにも関わらず、私達にすごく親切にしてくれました。台湾の人柄の良さ、語学力の高さ、観光地の楽しさたくさんの良いところを見つけることができました。初めての体験にも関わらず、私も積極的に台湾の学生に話しかけることができたのもみんなが優しくしてくれたおかげです。違う自分を見つけることができたので本当に感謝でいっぱいです。これを機に日本にとどまらず世界の様々な国に目を向けていきたいと思いました。

